京都伝統工芸協議会 設立50周年記念事業

「京都伝統工芸・新商品コンペティション」受賞者・作品 発表

募集テーマ:京都発世界に向けた工芸新商品

◆グランプリ(1点)

受賞者:白井 亮助 (有限会社りんよ工房(二方屋))

作品名:「ZENON+」(ゼノンプラス)

<作品コンセプト>

現在ヨガや瞑想などのマインドフルネスにおける需要は伸びてきており、よりデザインに特化した海外デザインに馴染む多用途おりんセットを考えました。今回のデザインでこだわった部分は日本っぽさを消し去ることで、木工工房(UNOKA)とコラボし、おりん台の天面のアールの角度などすべてが計算された形をしています。しかし、最も重要であり譲れない部分は「音色」です。いかにデザイン的でいかに優雅な音色を最大限に響かせるか?を何度も試作を繰り返して完成に至りました。



©UNOKA

◆準グランプリ(1点)

受賞者:石浦 顕二 (株式会社西村石灯呂店)

作品名:「タテタリ」 <作品コンセプト>

"石は重たくて冷たくて硬い"ことは事実ですが、『石って軽やかで温かくて柔らかい』ものになり得ます。 手仕事によりその表情が生まれます。今回の作品は花器としての役割だけでなく、本を立て掛けることもできるもので、側面に作り出した突起はアクセントになると同時に、本を真っ直ぐに支えます。また、水穴には添付のガラス容器を収め、花を生けた後の手入れも楽にできます。使用している石材は、燈籠を作る際に生じる小さな部材です。埋もれてしまう材料の利用を伝統工芸の分野で実践していくことにも意義があると思います。



◆奨励賞(2点)

受賞者:河合 祥子 (河政印房)

作品名:京都の伝統工芸の職人による装飾が施された石の印章「ひかり」

<作品コンセプト>

欧米の方が漢字に対して興味を抱かれることも多いです。また手彫りの印章は世界でひとつの自分だけのシンボルマークであり、シグニチャーとなるものです。書画等で落款印として使われる石の手彫り印章に、京都伝統の技法による装飾を施しました。特徴としては手に馴染むように形を整え、磨いた石の印材に職人による金箔と螺鈿の優美な装飾をそれぞれ施している事です。お客様のご希望をお聞きした上で手彫り彫刻したものを納めさせて頂きます。お客様ご自身で彫刻される場合には、印材としての販売も行います。



受賞者:岡本織物株式会社 (岡本 絵麻)

作品名:西陣織サインプレート 流水ブラック

<作品コンセプト>

視覚記号(マーク)である「ピクトグラムサイン」はどうしても 無機質になりがちです。そこで伝統工芸品である西陣織の 絹地を使い表具師とのコラボレーションで、温かみ・豪華さ・ 伝統感などを出しています。単なる西陣織の装飾アートとし てではなく、実用性を取り入れた世界初の製品となっていま す。小ロット生産の為、お客様の自由なご要望に当社テキス タイルデザイナー、京表具師によるオーダーメードとして応 えることができます。京都の工芸分野と協業を進め、伝統の 技術を使い、新しい製品へと更なる進化を進めています。





応募条件 ①1点5万円以内の価格(税抜・希望小売価格)により販売可能で、追加生産が可能なもの。

- ②未発売のもの。
- ③他者の意匠権等の知的財産権を侵す恐れのないもの。

審 査 ポイント

- ・海外向け販売に適していること、大きな可能性があること。 デザイン、用途、品質と価格のバランス、ストーリー(伝統的技術の活用等)など
- 商品に新規性等(他業種とのコラボ作品等)があること。新たな発想や視点、価値の再発見、類似商品がない又は少ないなど